

## 令和7年度学校経営計画表

## 1 学校の現況

学校番号	特 12		学校名	茨城県立勝田特別支援学校								学校長名	三沢 博樹					
教頭名	山本 憲資				教頭名	佐藤 まゆみ				事務（室）長名	金子 泰章							
教職員数	教 諭	107	養 護 教 諭	2	常 勤 講 師	14	非 常 勤 師	4	実 習 助 手	2	寄 宿 舎 指 導 員		事務職員	3	技 術 職 員 等	13	計	149
幼児・ 児童・ 生徒数	部	1年(3歳児)		2年(4歳児)		3年(5歳児)		4年		5年		6年		合計		合計 クラス数		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
	幼稚部																	
	小学部	22	5	21	6	15	7	9	6	11	8	14	4	92	36	33		
	中学部	11	8	8	5	13	6							32	19	14		
	高等部	14	9	21	7	15	5							50	21	15		
	専攻科																	
													小計	174	76	62		
													合計	250				

## 2 目指す学校像

- ◆笑顔とあいさつにあふれた学校
- ◆保護者・地域から信頼される学校
- ◆地域の特別支援教育の発展に貢献できる学校

## 3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項 目	現 状 分 析	課 題
学校経営	・コミュニティ・スクールを活用して、小1から高3までのキャリア教育（地域との協働活動・職場体験等）の推進に取り組んでいる。	・本校が目指すコミュニティ・スクールとキャリア教育の「見える化（図式化）」 ・地域との協働活動・職場体験等における児童生徒の意識や行動変化の評価

<p>学校経営</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回のいじめアンケートに加え、アナログ（相談BOX）・デジタル（オンライン相談）両面から児童生徒を常時支援している。</li> <li>・不審者侵入防止のための各昇降口の常時施錠、また不審者侵入後の対応のための訓練を含む大地震を想定した避難訓練を年5回、引き渡し訓練を年1回実施している。</li> <li>・居住地校交流の意義や個々の合理的配慮について相手校に伝えるために、「合理的配慮個人支援シート」を作成して提示している。</li> <li>・小中高の各部を超えた交流を目的（キャリア教育を含む）として、ペア学年（小1と高1など）を作って活動している。</li> <li>・行政・福祉事業所等と連携し、児童生徒の支援の充実に努めている。また、地域による特別支援教育の向上を目的とする新事業の体制づくりに努めている。</li> <li>・教員が授業準備に注力できるために、事務的業務の改善・効率化に取り組んでいる。</li> <li>・若手教員の退職や教員の不祥事を防止するために、定期的面談や臨時的プチ面談、校長・教頭から教員への積極的な声かけ、風通しのよい職場づくりに取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒から相談等があった際のスピーディーな情報共有</li> <li>・昇降口施錠等による防犯体制の継続、学校防災連絡会議での各種避難訓練等の検証</li> <li>・居住地校交流実施者全員の「合理的配慮個人支援シート」の作成と活用の継続</li> <li>・全校集会以外での活動</li> <li>・児童生徒支援とセンター的機能を推進するための学校全体での支援体制（人財育成等）及び教職員研修</li> <li>・会計業務と写真印刷配付業務の検討</li> <li>・退勤時間の徹底</li> <li>・不祥事根絶のための校内ルールの徹底</li> <li>・教員主体によるチームビルディング型の研修</li> <li>・校長室ドアオープンの継続、起案文書等への校長からの感謝や感想の記入の継続</li> </ul>
<p>学習指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の「主体的な学び」を引き出すため、全教員で学校研究に取り組んでいる。</li> <li>・児童生徒による年3回の授業評価（R6：授業がよくわかる・大体わかる児童生徒90.6%）</li> <li>・タブレット端末をほぼ日常的に活用して授業が行われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員が主体的に取り組みたくなる学校研究（テーマ：「主体的な学びクエスト（探求）～授業のレベル上げにチャレンジ～」）の検討</li> <li>・学校研究を核とした教員の専門性や授業力の向上</li> <li>・分からないことを聞ける教員の人間関係</li> </ul>

#### 4 中期的目標

- |                               |
|-------------------------------|
| 1 【未来への学び】 教育的ニーズに応じた学力の育成    |
| 2 【安心安全】 安心安全な教育環境づくり         |
| 3 【交流及び共同学習】 多様性を認め合える共生社会の実現 |
| 4 【総合支援】 地域の特別支援教育のセンター的機能の推進 |
| 5 【高い専門性】 教職員の専門性の向上          |

#### 5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1 未来への学び	①【学校研究テーマ】主体的な学びクエスト（探求）～授業のレベル上げにチャレンジ～ ②【訪問教育(茨城東病院)】算数・数学科授業の推進 ③【キャリア教育】小学部1年から高等部3年までのキャリア教育の推進と整理 ④【カリキュラムマネジメント】単元配列表の運用
2 安心安全	⑤【安心から学びと自信へ】児童生徒による授業評価、アナログ(相談BOX)・デジタル(相談)両面の児童生徒支援 ⑥【保健・給食】安全な給食体制 ⑦【防犯・防災体制】不審者侵入防止の防犯体制 大地震を想定した避難訓練・引き渡し訓練
3 交流及び共同学習	⑧【コミュニティ・スクール】地域との協働活動の評価の実施 ⑨【交流及び共同学習】「合理的配慮個人支援シート」を活用した居住地校交流 ⑩【地域ギャラリー】地域の方々との作品交流（校内・校外） ⑪【校内ペア学年】部を超えた交流
4 総合支援	⑫【地域への支援体制】関係機関と連携した児童生徒の支援体制の充実 新事業の推進と準備 小学校・中学校・高等学校のニーズ把握 ⑬【校内支援】教育相談の理解推進（部会等での係による紹介）
5 高い専門性	⑭【学校研究の取組】①外部講師による講演 ②教員同士の語り合い ③模擬授業 ④実践・振り返り・実感 ⑮【ICT活用】活用の日常化 ⑯【働き方改革】業務効率化の検討、退勤時間の設定と徹底 【コンプライアンス】若手教員の退職者0、教員不祥事0 ⑰【福祉事業所合同説明会】関係機関との連携強化

6 教職員の行動指針	⑱教育公務員としての誇りと高い倫理観 ⑲笑顔とあいさつにあふれた学校づくり ⑳チームとしての支え合い学び合い
------------	--